

# 創立十周年記念誌



大阪府立 柏原東高等学校

# 校舎正門







# 創立十周年記念誌

昭和 61 年



大阪府立 柏原東高等学校

# 校歌

## 大阪府立柏原東高校校歌

作詞 田中喜一  
作曲 近藤 啓

われらいまここにどうか  
ぎりなくいぶくだいちにあ  
たらしきちからはもえてと  
もにひらかんみらいのいしずえし  
ぎいこまやまなみのぞむこ  
のおかべわれらいまここ  
にいきるわれらがこうこうか  
しわらひがし

1. 我ら今ここに集う

限りなく息吹く大地に

新しき力は燃えて

ともに開かん未来の礎

信貴生駒山並のぞむこの岡辺

我ら今ここに生きる

我らが高校柏原東

2. 我ら今ここに学ぶ

豊かなる歴史を継いだ

美しき心は燃えて

ともに歩まん真理の道を

大和川さざ波光るこの岡辺

我ら今ここに育つ

我らが高校柏原東

## 教育方針

明るく生き生きとした学校をつくるためには、生徒に学習の喜びと、明日への希望を与えることが何より大切である。生徒の能力の実態に即しながら、個々の生徒の心情理解に努めると共に、暖かい心と心の触れ合いを図りつつ、特に次のことがらに力を注ぎたい。

1. 基礎学力の充実と、個性の伸張
2. 望ましい生活習慣の形成と、集団の中での規律と礼儀の徹底
3. 豊かな情操の陶冶と、体力の増進
4. 他人に対する思いやりと、人権を尊重する精神の涵養
5. 公共物を大切にする精神と、進んで公共に奉仕する態度の育成

## 三つのモットー

1. 自ら品位を高めよう。
2. 困難に打ち克つことに喜びを見つけよう。
3. 進んで公共に奉仕しよう。



## 校章の由来

柏原市に初めて設置される府立高校ということから、柏原市の市章と「高」の文字を組み合わせ制作している。

中央から外に向かって伸びている三本の矢に、知・徳・体の意味をもたせ、周囲を取りまいてる円に、円満な人格というイメージをもたせて、「知・徳・体という三つの特性をできる限り伸ばし、調和のとれた円満な人格を形成したい」という学校の願いが象徴的にこめられている。



# 目次

創立十周年に寄せて .....	1
沿革の概要 .....	11
学校行事	
十年間の歩み .....	15
生徒の活動	
十年間の歩み .....	39
誌上インタビュー	
旧教職員近況報告 .....	71
資料一覧 .....	77
編集後記 .....	99





## 創立十周年をむかえて

### 三つのモットー

学校長 玉井 庄 平

この度本校は創立十周年をむかえることとなりました。その時期に在職し、記念誌を発行しお祝いのできるのを、非常に嬉しくまた光栄に存じております。

「十年一昔」という言葉がありますが、今年を一つの節目として、これまでの本校の歴史を振り返り、次の発展への基盤のよすがとすることが、現在柏原東高校に務めている私達の責務ではなかろうか、と考える次第です。

本校は昭和51年4月15日に大阪府議会で、府立第109高等学校として設立が認可され、翌年の昭和52年の春に開校をしております。そして本校は、柏原市高井田の緑豊かな高井田の丘陵地に位置し、眼下にはかつて頼山陽が河内嵐山と賞賛した大和川の景観を望み、背後には由緒ある高井田古墳群に取りまかれています、文字通り自然と歴史に恵まれた環境絶佳の学校であります。

その中で初代の巽校長、第二代の石香校長を中心として、極めて教育に熱意のある教職員により、密度の濃い指導と実践がなされてきました。その間の歩みは決して容易ではなく、むしろ苦難の連続ではなかったかと拝察しております。しかしこれまでの教職員の不屈の精神と、たゆまざる努力があり、同時にPTA・保護者会・関係各機関のご支援とご協力があればこそ、今日このようにめでたく、創立十周年を祝うことができるのだと思い、衷心より感謝致しております。

しかしひるがえって現在の世相や教育の現状を見ますと、青少年の様々な問題行動ばかりが

目立ち、或る外国人が、「物の豊かな中の心貧しき日本人」と言ったような状況があります。技術ばかりが驚異的に進歩し、物があまりに豊富すぎ、人はその中心となる“こころ”を忘れていている場面が多々見受けられます。

そこで今こそ、私達は創業の初心“こころ”に立ちかってみる必要があると思います。

本校は創立当初より、次の三つのモットーを校訓として掲げてきました。

- (1) 自らの品位を高めよう。
- (2) 困難に打ち克つことに喜びを見つけよう。
- (3) 進んで公共に奉仕しよう。

これらを別の言葉で言いかえますと、

(1)は日常生活のなかで、あたり前のことをきちっとやることであり、(2)は自分の学習なり人生なりに、真剣に立ち向っていくことであり、(3)は人は己れ一人勝手に生きるのではなく、社会の中で“生かされているということ”を自覚することだと思えます。

学校生活のなかでこの三つをモットーとして生きていくとき、自分への信頼を取り戻し、不満を受容でき、衝動を抑制できて、自発性と強さを持った生徒に育っていくと確信しております。

能力差は小さく、努力の差が大きいのです。創立十周年の今、上記創業の初心にかえり、職員生徒が一つとなって、これをバネとして、活力と自信の溢れる柏原東高校を目指して、次の新しい時代への飛躍をはじめなければならないと、心に誓っております。



## 一步一步を確実に

PTA会長 山田 邦男

本年は柏原東高等学校創立十周年記念の年、おめでとうございます。PTA会員の皆様方も毎日仕事に、子供の養育に励んでおられることと思います。

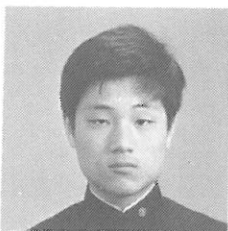
さて、今回、昭和61年度PTA総会におきまして、皆様方の御承認を受け、至らぬ私ではございますが、皆様方の御協力をえて、何とか一年間がんばってまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

ところで、今年は開校十年目に当り、卒業生も就職や進学されてから六、七年となり、だいぶ社会の荒波にもまれて、たくましく成長し、親を喜ばしていることでしょう。振り返ってみて、月並みかも知れませんが、高校時代もっと勉強しておけば良かったと、今さら悔いてもはじまりません。人間の一生は、生きている限り、勉強の連続です。判断の物差をしっかりと身につけ、仕事に前向きに取り組めば、必ず明るい

道が開けてきます。答は一朝一夕には出るものではありません。千里の道も一歩からです。君達の将来も一步一步確実に、いろいろな情報を消化しつつ、職場等、社会のいろいろな人達とふれあって、自分自身を向上させ、これから卒業二十周年、三十周年を飾って下さい。



総会風景 61年 5月 16日



## 生徒会活動に打ち込もう

生徒会会長 琴 秀二

本校創立十周年という時期に生徒会役員になり、その仕事出来るのを嬉しく思っています。昨年度に続き2回目の生徒会で、要領も少しは把握出来て来たかの様に思います。が残念な事に、今年は楽しみにしていた体育祭が11月に延びてしまい、前期執行部での仕事が1つ消え、球技大会・文化祭だけでは物足りなさを感じています。さて、例年通りに行われた昨年の駅伝

大会。幸い雨にも合わず、少々寒いながらも楽しく充実した一日に思えました。が1つ気になるのは、もう少し参加人数が増えれば……という事です。それは他にも言える事であり、球技大会・文化祭・体育祭等の校内行事には、必ずと言っても良い程休む人が出ている状況です。皆さんはこの現状をどの様に感じているでしょうか。人生の中のほんの一握りの学生生活、そ

## 創立十周年に寄せて

の貴重な時間をなぜ自ら無駄にするのでしょうか。おそらくその大半の人がその時には気付かず、卒業し社会の荒波に飲まれた時ようやく気付く、といった具合ではないでしょうか。

一般によく「青春とは何だ」・「青春は二度と帰らない」なんていう言葉をよく耳にしますが、私の考えは次の様です。青春とは何かに全力で打ち込み、今を思い切り熱く生きている事

を言うのであり、青春に決った回数などないのだと思う。回数など一回だろうと十回だろうとかまわない。自分で生涯悔いのない人生を送ることが出来れば良いのだと思う。それだけで…。

最後に。人は皆、夢を心の片スミにしまっているもの。いつの日にか夢を成し遂げようと、日々生きているのが人間ではないだろうか。



## 柏原東高等学校創立十周年 おめでとうございます

同窓会前会長 郡山 順夫

私はこんなに早く十周年と云う言葉を聞くと  
は思いもよりませんでした。

長い様で、短い、あっと云う間の十年と、今、しみじみ感じています。そんな中で、あの長い道を歩いた、国分駅からの通学路。暑い日も寒い日も、体で感じながら歩いたものです。その道が今に思うと、友人との大切な、コミュニケーションの場でありました。また一期生でありました私は、設備がととのっていない柏原東高校からスタートしてく一期生だからしっかりしなあかんで！とプレッシャーも感じながら過ごしたものです。そして卒業し、自分たちの進路に向った今でさえ、ふと、思うことがあるのです。くもっとあの時にこうしてたら良かったと…みなさんもそんな風に思うことがあると思います。とくに失敗した事や、くやしかっ

た事、そんな思いは、だれにでも思いあたる事でしょう。私は、この柏原東高等学校十周年という機会をひとつの節目として、これからの生きてゆく上で少しでもくい残らない様に、これからの十年を過ごしたいと思います。そして、柏原東高校二十周年記念の際には、今とは違った思い出にしたいものです。ありきたりの、一コマにしないで自分達の成長をふり返る時をあたえてくれる大切な時として受け取りたいものです。最後に、この十年間、多くの人達が、柏原東高等学校の発展と成長の為に、御協力して頂いた事を、この場をかりて深く感謝致します。これからの柏原東高等学校の発展と成長を期待し、十周年のお祝いの言葉にかえさせていただきます。